令和9年度に向けた事業承継支援の考え方ついて

資料２

アンケート結果から確認された主な内容

・後継者がいる企業は40.6%である一方、後継者がいない企業も36.5%存在している。
・後継者がいない企業のうち77.8%は、「後継者が見つかれば承継したい」と回答している。
・事業承継の課題としては「後継者（候補）の確保・育成」及び「事業承継の適切なタイミングや手順」を挙げる企業が多い。
・事業承継に関する課題は相互に関連しており、「後継者の確保」「承継手順」「相談先不在」などを同時に抱える傾向あり。
・事業承継支援策については「特になし」と回答した企業も多くみられた。

アンケート結果から考えられる課題

課題①　支援が必要な事業者を十分把握できていない可能性
・後継者不在企業が一定数存在する一方で、支援を希望しない企業も多い。
・支援が不要というよりも、「相談先や支援制度を知らない」「まだ必要性を感じていない」企業が含まれている可能性。

課題②　後継者確保以前の相談ニーズが存在している
・後継者確保だけでなく、承継手順、タイミング、関係者調整やコスト債務保証といった課題も同時に発生している。

課題③　実態把握の継続が必要
・今回の回答数は74件に留まっており、市内全体の状況把握のためには、個別訪問や継続的な情報収集も必要と考えられる。

アンケート結果を踏まえると、支援制度の拡充よりも、まずは「支援を必要とする事業者の掘り起こし」を優先的に推進し、「相談支援体制の活用」につなげていくことが必要と考えられる。

▷▷R9年度に向けた事業承継支援の考え方

① 支援対象企業の掘り起こし
アンケート設問「支援希望の有無」にて
希望する企業　→ ・アンケート結果を活用した個別アプローチ
希望しない企業 → ・代表者年齢等を踏まえた重点訪問
・地域における役割や価値の再認識を促す取組など

② 相談支援体制の活用・推進
・引継ぎ支援センター等の紹介、同行訪問
・補助制度、税制支援、承継マッチング制度等の周知
・接触した企業への個別情報提供